

総務厚生常任委員会

総事業費36億2千万円へ

12月10日に委員会が開催され、白鷹町まちづくり複合施設整備事業について説明を受けた。

【整備事業も大詰め】

今年度で完成予定のまちづくり複合施設だが、当初事業費より大幅に増加。

質疑

総工費は

委員 総額でいくらか。

当局 当初は32億2千万円を予定していたが、36億2千万円程になる見込み。4億円、14・4%のアップと見込んでいる。

委員 追加経費は、地震計の移設、外部カメラの増設か。

当局 追加工事はそのとおり。加えて設計から3年経過し、労務費、



さらに使い勝手のよさを目指して



町民への丁寧な説明を

物価上昇分を加味してのもの。

委員 町民への開示は。

当局 工事は1月31日が工期。その他の工事も含め年度内に完了。全体事業費、財源について報告する。

委員 何年で償還か。

当局 過疎債、公共施設等適正管理推進事業債、基金を使用。過疎債は12年、公共施設等適正管理推進事業債は24年で償還。財源と共に町民へお知らせする。

子ども・子育ての課題解決に向けて

第2期白鷹町子ども・子育て支援事業計画について説明を受けた。

【策定の目的】

子ども子育てを巡る、種々の課題解決を目指す。

質疑

障がい児保育の取り組みは

委員 本町には児童発達支援事業所がない。需要は。

当局 障がい児保育は、主としてひがしね保育園で実施。人数も増えており、他の保育園にもお願いしている。児童発達支援は、療育訓練センターなどの専門的な助言をもらいながら、本人にとって有効な場合は、長井市や山形市の事業所などを利用してはいる。

委員 保育所等訪問事業も町外の事業所を利用しているのか。

当局 現状は町外の事業所が必要に応じて訪問指導を行っている。これまであまり実績がないが、今後出てくると思う。

婚活への取り組み

委員 中高生への意識付けをすすめてもらうことも必要では。

当局 中学生には、保健師が妊娠出産の話をする「命の教育」を実施。若いうちからの結婚、子育ての意識付けは重要。今後も教育委員会と連携していく。



障がい児支援のさらなる充実を

- その他
- 第6次白鷹町総合計画 前期基本計画
- 令和元年度給与改定等
- 空き家実態調査
- 新白光園建設状況
- について説明があった。